



市民プラザにて小学生にドローンのプログラミングを指導

今年7月29日、8月1日にプログラミング教育の一環として、小学生を対象としたプログラミング教室を柏崎市民プラザで開催しました。内容としては、トイドローンの動きをプログラミングして、障害物を避けたり、自由に飛ばしてみようというものでした。また、小学校の農業体験にIoT技術を活用する試みを行っています。

新潟工科大学で、主に情報工学の授業を担当しながら、IoT技術の社会実装に取り組んでいる佐藤教授。地域や企業と協力して、小水力発電や防災システムの開発、小学校・高校生を対象としたプログラム教室を行っています。今回は、そんな佐藤教授の活動の一部を紹介したいと思います。

プログラミング、ものづくりの楽しさを伝えたい

今年7月29日、8月1日にプログラミング

を柏崎市民プラザで開催しました。内容としては、トイドローンの動きをプログラミングして、障害物を避けたり、自由に飛ばしてみようというものでした。また、小学校の農業体験にIoT技術を活用する試みを行っています。

## Case No.01



地域を動かす  
そのチャレンジは  
新潟工科大学  
情報機器応用研究室  
から生まれた

ます。花壇や野菜畑にカメラやセンサーを設置して、花の様子を記録したり、栽培に関わる情報を取得するというものでした。  
2020年にプログラミング授業が必須化となりますが、こうした活動から子供たちにプログラミングの楽しさを伝えていけたらと思います。

IoT技術を市民生活・防災システムに

2018年の大雪をきっかけに、研究室の学生が「除雪支援アプリ」の提案を行いました。近年、シェアエコノミーの考え方が広がっておりありますが、除雪を求める人と手助けできる人の情報を共有し、市民間で協力する、コミュニケーションをはかることを目的としています。このアプリは、実際には公開まで至りませんが、防災の面でも役立つとされています。

また、最近では「雪氷に強いエコ水車」を市内の企業と共同で開発しています。開けた水路では水車に雪が付着して回転が遅くなり、発電が出来ない、流れがせき止められる等が予想され、冬期の使用は困難と考えられています。しかし、田畑や道路、河川など電源の確保が難しい場所では、この水車が貴重な電源になり得ます。

今後、地元・柏崎の未来を見据えた研究・開発に取り組んでいきたいと考えています。

### key Person

新潟工科大学 工学部  
教授(博士) 佐藤 栄一さん

#### 市民の皆さんにひとこと

新潟工科大学の図書館や食堂は一般の方にも利用いただけるよう開放しています。そういった施設を市民の方にもぜひ利用していただき、大学を身近に感じてもらえたら嬉しいです。



様々なアイデアが生まれた情報機器応用研究室で、学生を指導する佐藤教授



新潟産業大学からお知らせ  
新潟産業大学「紅葉祭」

▼とき：10月19日(土)～20日(日)

午前10時～午後4時30分

模擬店・茶道部茶会、水球部展示、ゼミナールポスターセッション、地域連携活動パネル展等

◆19日(土)のイベント

文化講演会・講師の  
天達武史氏

◆20日(日)のイベント  
ダンス、軽音楽部ライブ、ピング大会、モンゴルフェスタ、自動車連盟催事



ミニオーブンキャンプバス、芸術文化部発表会、父母の会「天達武史氏」文化講演会、私の主張、アーティストライブ「サスケ」

お問い合わせ/学生課

TEL 246402



大学HP



新潟工科大学からお知らせ

「まち研スタンプラリー」@

商店街」参加者募集



昨年の様子

新潟産業大学と新潟工科大学の共同プロジェクトを11月9日(土)に開催します。商店街をまわって店舗に関するクイズに答え、スタンプを集めて景品をゲット!

◆対象：小学生(3人1組)

◆集合：柏崎市産業文化会館

◆申し込み：11月2日までに工科大学学務課へ。

TEL 228102

machikado@nit.ac.jp



大学HP